

平成27年 業種別死傷災害発生状況（確定）

鹿児島労働局

	平成27年		平成26年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1751	17	1729	21	22	-4
1 製造業	321	2	351	4	-30	-2
1 食料品製造業	197	1	224	2	-27	-1
4 木材・木製品製造業	10		20		-10	
9 窯業土石製品製造業	21		14		7	
11～12 金属製品製造業	12	1	20		-8	1
13～15 機械機具製造業	24		24			
上記以外の製造業	57		49	2	8	-2
2 鉱業	3		4		-1	
3 建設業	290	5	267	6	23	-1
1 土木工事業	103	3	92	3	11	
2 建築工事業	161	1	153	3	8	-2
3 その他の建設業	26	1	22		4	1
4 運輸交通業	203	2	222	3	-19	-1
1 鉄道・航空機業	8		5		3	
2 道路旅客運送業	17		27	1	-10	-1
3 道路貨物運送業	177	2	190	2	-13	
4 その他の運輸交通業	1				1	
5 貨物取扱業	18	1	13	1	5	
1 陸上貨物取扱業	8	1	4		4	1
2 港湾運送業	10		9	1	1	-1
6 農林業	92	3	86	2	6	1
1 農業	42		40	1	2	-1
2 林業	50	3	46	1	4	2
7 畜産・水産業	97	2	85	1	12	1
8 商業	224	1	261	1	-37	
1 卸売業	28		41		-13	
2 小売業	164	1	194	1	-30	
3 理美容業	4		1		3	
4 その他の商業	28		25		3	
9 金融・広告業	15		12		3	
11 通信業	9		12		-3	
12 教育・研究業	21		13		8	
13 保健衛生業	218		200		18	
1 医療保健業	84		81		3	
2 社会福祉施設	127		111		16	
3 その他の保健衛生業	7		8		-1	
14 接客娯楽業	119		115	3	4	-3
1 旅館業	30		32	1	-2	-1
2 飲食店	56		55	2	1	-2
3 その他の接客娯楽業	33		28		5	
上記以外の事業	121	1	88		33	1
10 映画・演劇業						
15 清掃・と畜業	72	1	52		20	1
16 官公署	1		1			
17 その他の事業	48		35		13	
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）	185	3	194	2	-9	1
第三次産業（8～17）	727	2	701	4	26	-2

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。
 ② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成27年 業種別死傷災害発生状況（確定値）

（事故の型別）

鹿児島労働局

業種	年	平成27年		平成26年		増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1751	17	1729	21	22	-4	1.3%	-19%
1 製造業		321	2	351	4	-30	-2	-8.5%	-50%
1 食料品製造業		197	1	224	2	-27	-1	-12.1%	-50%
4 木材・木製品製造業		10		20		-10		-50.0%	
9 窯業土石製品製造業		21		14		7		50.0%	
11～12 金属製品製造業		12	1	20		-8	1	-40.0%	
13～15 機械機具製造業		24		24					
上記以外の製造業		57		49	2	8	-2	16.3%	-100%
2 鉱業		3		4		-1		-25.0%	
3 建設業		290	5	267	6	23	-1	8.6%	-17%
1 土木工事業		103	3	92	3	11		12.0%	
2 建築工事業		161	1	153	3	8	-2	5.2%	-67%
3 その他の建設業		26	1	22		4	1	18.2%	
4 運輸交通業		203	2	222	3	-19	-1	-8.6%	
1 鉄道・航空機業		8		5		3		60.0%	
2 道路旅客運送業		17		27	1	-10	-1	-37.0%	-100%
3 道路貨物運送業		177	2	190	2	-13		-6.8%	0%
4 その他の運輸交通業		1				1			
5 貨物取扱業		18	1	13	1	5		38.5%	0%
1 陸上貨物取扱業		8	1	4		4	1	100.0%	
2 港湾運送業		10		9	1	1	-1	11.1%	-100%
6 農林業		92	3	86	2	6	1	7.0%	
1 農業		42		40	1	2	-1	5.0%	-100%
2 林業		50	3	46	1	4	2	8.7%	200%
7 畜産・水産業		97	2	85	1	12	1	14.1%	100%
8 商業		224	1	261	1	-37		-14.2%	
1 卸売業		28		41		-13		-31.7%	
2 小売業		164	1	194	1	-30		-15.5%	
3 理美容業		4		1		3		300.0%	
4 その他の商業		28		25		3		12.0%	
9 金融・広告業		15		12		3		25.0%	
11 通信業		9		12		-3		-25.0%	
12 教育・研究業		21		13		8		61.5%	
13 保健衛生業		218		200		18		9.0%	
1 医療保健業		84		81		3		3.7%	
2 社会福祉施設		127		111		16		14.4%	
3 その他の保健衛生業		7		8		-1		-12.5%	
14 接客娯楽業		119		115	3	4	-3	3.5%	-100%
1 旅館業		30		32	1	-2	-1	-6.3%	-100%
2 飲食店		56		55	2	1	-2	1.8%	-100%
3 その他の接客娯楽業		33		28		5		17.9%	
上記以外の事業		121	1	88		33	1	37.5%	
10 映画・演劇業									
15 清掃・と畜業		72	1	52		20	1	38.5%	
16 官公署		1		1					
17 その他の事業		48		35		13		37.1%	
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）		185	3	194	2	-9	1	-4.6%	50%
第三次産業（8～17）		727	2	701	4	26	-2	3.7%	-50%

業種	順位	事故の型	人数	割合
全産業	1	墜落・転落	363	20.7%
	2	転倒	335	19.1%
	3	はさまれ・巻き込まれ	199	11.4%
	4	動作の反動・無理な動作	182	10.4%
	5	切れ・こすれ	132	7.5%
製造業	1	転倒	68	21.2%
	2	はさまれ・巻き込まれ	60	18.7%
	3	切れ・こすれ	43	13.4%
	4	墜落・転落	39	12.1%
	5	動作の反動・無理な動作	29	9.0%
建設業	1	墜落・転落	115	39.7%
	2	はさまれ・巻き込まれ	36	12.4%
	3	飛来・落下	23	7.9%
	3	切れ・こすれ	23	7.9%
	5	転倒	19	6.6%
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	61	33.0%
	2	はさまれ・巻き込まれ	22	11.9%
	3	激突	19	10.3%
	3	交通事故（道路）	19	10.3%
	5	動作の反動・無理な動作	18	9.7%
林業	1	切れ・こすれ	15	30.0%
	2	激突され	11	22.0%
	3	飛来・落下	5	10.0%
	4	墜落・転落	3	6.0%
	4	転倒	4	8.0%
4	動作の反動・無理な動作	3	6.0%	
第三次産業	1	転倒	211	29.0%
	2	動作の反動・無理な動作	116	16.0%
	3	墜落・転落	111	15.3%
	4	交通事故（道路）	66	9.1%
	5	はさまれ・巻き込まれ	56	7.7%
小売業	1	転倒	56	34.1%
	2	交通事故（道路）	26	15.9%
	3	墜落・転落	21	12.8%
	4	はさまれ・巻き込まれ	15	9.1%
	5	動作の反動・無理な動作	12	7.3%
社会福祉施設	1	動作の反動・無理な動作	40	31.5%
	1	転倒	38	29.9%
	3	墜落・転落	20	15.7%
	4	交通事故（道路）	10	7.9%
	5	はさまれ・巻き込まれ	5	3.9%
飲食店	1	転倒	15	26.8%
	2	切れ・こすれ	15	26.8%
	3	高温・低温の物との接触	12	21.4%
	4	はさまれ・巻き込まれ	4	7.1%
	5	墜落・転落	3	5.4%
5	動作の反動・無理な動作	3	5.4%	

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上の災害によるもので、死亡者数を含みます。
 ② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成27年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成27年 1月	土木工事業	作業員	男	67	激突され	立木等	道路改築工事現場の皆伐作業において、チェーンソーを用いて杉(胸高直径31cm、樹高19.2m)の伐木を行っていたところ、当該伐木が近傍で別の杉の玉切り作業を行っていた被災者の背面に激突したものの。
2	平成27年 2月	非鉄金属製造業	鋳物工	男	26	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	労働者4名が鋳型ラインのジャケットウェイト移載装置の爪開閉センサーの調整作業中、被災者が同僚Aに爪の開閉と爪フレームの上下操作を指示したところ、爪フレームが上昇し、被災者が上昇した爪フレームと当該機械の上部フレームの間に挟まれ、頭蓋骨骨折及び頸椎骨折により死亡したものの。
3	平成27年 2月	水産業	餌製造工	男	20	はさまれ・巻き込まれ	混合器・粉砕器	養殖カンパチのえさの原料(鯖等を30cm×60cm×10cmに氷漬けしたもの)を砕くクラッシャーの作業台に乗り、原料を投入していた被災者が、クラッシャーの回転刃に巻き込まれたものの。
4	平成27年 2月	陸上貨物運送業	運転手	男	61	その他	起因物なし	トラックターミナル内で仮眠を取っていたところ、14時30分頃に同僚が異変に気づき救急搬送された。「心筋梗塞」と診断され、同日16時12分に死亡した。
5	平成27年 4月	林業	伐木造材作業員	男	57	激突され	立木等	伐木作業中、労働者がチェーンソーで切り倒した杉(高さ約21m、胸高直径約33cm)が想定と異なる方向に倒れ、別の立木の伐木作業をしていた被災者に当たり、被災者がその杉の下敷きとなり被災したものの。
6	平成27年 5月	新聞販売業	新聞配達員	男	67	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	被災者がバイクで新聞配達を行っていたところ、信号機の無い交差点で相手方自動車と出会い頭に衝突したため電柱に頭部を強打し、死亡したものの。
7	平成27年 5月	土木工事業	工程管理員	男	63	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	道路舗装工事現場において、被災者が路肩のはつり状況を写真撮影していたところ、バックしてきたロードスイーパーに轢かれ、被災したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
8	平成27年 6月	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	男	23	墜落・転落	フォークリフト	被災者がフォークリフトを運転して、トレーラーから卸すにあたり、トレーラーに取り付けられた道板付近で脱輪し、フォークリフトが進行方向の左側に倒れ、共に転落した被災者の首付近がフォークリフトのヘッドガード付近の下敷きとなり被災したものである。
9	平成27年 7月	食料品製造業	作業員	男	57	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	被災者が工場内で精麦・飼料製造の補助作業を行っていたところ、熱中症とみられる意識障害(敗血症性ショック)を起こし、6日後の7月15日に死亡したものの。当日の作業は7時50分から12時まで工場内において精麦・飼料製造の補助作業を行い、12時から1時間休憩後、工場内で引き続き、午前中の作業を行っていた。災害発生時の工場内温度は約38度。湿度は不明。
10	平成27年 8月	その他の建設業	作業員	男	55	感電	送配電線等	冷凍機の設置工事において、被災者が配線作業中、電圧がかかっている配線をケーブルカッターで切断したところ、地絡を起こし、感電死したものの。
11	平成27年 8月	建築工事業	作業員	男	63	飛来、落下	屋根、はり、もや、けた、合掌	SRC造パチンコ店(6階建)解体工事現場において、鉄骨切断機(解体用機械)を用いて2階床スラブの大梁(H鋼)と小梁(H鋼)を解体作業中、大梁を鉄骨切断機でつかみ回転させたところ、その反動で当該大梁に取り付けられていた小梁(長さ6.77m、高さ44cm、幅20cm、重さ約500kg)が落下し、被災者に当たったものの。
12	平成27年 9月	林業	作業員	男	26	激突	立木等	伐採現場において被災者らが午前8時から前日の伐倒作業を行うため、現場到着後、被災者は一人で作業箇所に向かう途中、斜面で足を滑らせ、胸部が立木に激突したため、被災したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	平成27年10月	道路貨物運送業	運転手	男	57	激突され	人力運搬機	卸売市場内において、牛乳等を積み込んだロールボックスパレットをトラック荷台から保冷コンテナに人力で移す作業中、被災者がトラック後部のパワーゲートの端と保冷コンテナの入口との間の隙間に鋼製の道板を敷いてロールボックスパレットを引いていたところ、掛け渡していた道板が外れ、当該隙間に落ち、倒れたため被災者がその下敷きとなったもの。
14	平成27年11月	林業	作業員	男	59	崩壊・倒壊	立木等	被災者が高さ約15m、胸高直径約28cmの檜をチェーンソーで伐倒したところ、被災者の背後に立っていた高さ約13m、胸高直径約17cmの檜が蔓で繋がっていたため、伐倒した檜に引っ張られて根元から倒れ、激突した。午前11時45分頃、探しに行った同僚が檜の下敷きとなった被災者を発見したもの。
15	平成27年11月	土木工事業	作業員	男	68	激突され	立木等	水路(深さ約3m)拡幅工事において、水路を跨いで反対側の道路上に伐倒した木(樹高約22m)が道路の端から水路に5.8m突き出した状態となったことから下請作業員がチェーンソーで先端から5.5mの位置で伐倒木を切断したところ、被災者が滑動した伐倒木に激突され、そのまま伐倒木とともに水路に転落し、転落した伐倒木が水路の底でバウンドし、再度、被災者に激突したもの。
16	平成27年11月	水産業	作業員	男	24	溺れ	水	当日午前5時半頃、被災者を乗せた19トンの漁船が内之浦漁港を出航し、午前6時頃から定置網に船を固定する作業を開始し、その後、船長が被災者が船内外にいないことに気づいたので船内外を捜索したところ、約6時間後、被災者が海底で発見された(溺死)。
17	平成27年12月	産業廃棄物	運転者	男	52	激突され	車両系建設機械	被災者は、トラクター・ショベルのバケットに水300リットル入りのタンクと噴霧機械が入った金属枠を載せて、これをトラックに積み込むためにバケットを持ち上げたところ、機体が前輪を支点にして前のめりになったため、バケットが機体から外れ、その反動で後輪を支点にして前輪が浮き上がり、さらに前輪を支点にして後輪が浮き上がる動作を繰り返す中、被災者が運転席から投げ出され、機体左前輪の下敷きとなったもの。

平成27年 重大災害事例(交通事故を含む)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)	死亡	負傷
1	平成27年6月	小売業	指導員	女	51	交通事故	乗用車	指導員の運転手と販売員2名が社用車に乗車し、その日店頭販売を行う店舗に向かって走行していたが、途中、道を間違えたことからあせって赤信号で交差点に進入したところ、第3者の乗用車が左側面に衝突し、社用車が横転したもの。社用車の3名と相手車(第3者)の1名が被災した。	0	3
			販売員	男	36					
			販売員	男	59					
			第3者	女	不明					
2	平成27年12月	畜産業	作業員	女	53	その他	有害物	子会社の労働者2名を含む計13名が農場の鶏舎内で雛を入れる作業中、全員が動悸・頭痛・手足のしびれ・めまい等の症状が出現し、うち、症状が顕著であった3名については救急搬送され、入院加療(高酸素治療)となったが、残りの10名については検査等を受けたが治療の必要までは無かったもの。原因は、鶏舎暖房用のガスストーブ(ガスブルーダー)が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の症状が出現したことによる。	0	13
			作業員	女	41					
			作業員	女	45					
			作業員	女	59					
			作業員	男	62					
			サブリーダー	男	35					
			作業員	男	63					
			作業員	男	48					
			作業員	男	57					
			作業員	男	69					
			作業員	男	19					
			作業員	男	52					
			作業員	女	35					

※ 重大災害とは、一時に3人以上の死傷者を伴う災害である。